



花尾中学校だより 5号

<学校教育目標>

思いやりの心をもつ、自立した生徒の育成

令和7年9月25日 文責 諸藤貴子

自分の心と向き合う「調整する力」

<子どもたちへ>

朝夕は秋を感じるようになりました。日中は気温の高い日が続くと思われます。規則正しい生活を基本に体調を整えましょう。目標をたて、やる気スイッチを入れましょう。

皆さんは、常に自分の感情と向き合っていると思います。積極的な言動に表れることもあれば、ときに無責任な態度にあらわれたりすることもあるのではないのでしょうか。学校では、知識や技能を習得するための手立て、気持ちの伝え方やうまくいかないときの解決方法など日々の生活の中で学んでいます。危機を乗り越えようとするとき、自分の心と素直に向き合うことが大切です。周囲の思いやりの心に支えられていることも忘れてはいけません。素直な心、笑顔、思いやりを大切にしてください。

これからの社会では、自分で考え課題を見つけ探究したり対話したりして正解を導くという経験が必要です。その過程で努力したことが他の問題解決にも役に立ちます。

体育大会も控えています。皆の気持ちをそろえて活気あふれる一日にするために、知恵を出し合い行動に移しましょう。



<保護者のみなさまへ>

- この夏は、熱中症や感染症予防にご苦労なされたことと思います。幸い、本校は事故や事件もなく二学期の始業式を迎えることができました。ご協力に感謝します。
- 中間考査も終え、次の目標に向け努力する姿が見て取れます。3年生は、いつ見ても背筋が伸び学習への意気込みを感じます。反面、来年の春、自分がどこで何をしているか、期待と不安が混在しているようにも見えます。1・2年生は、近い将来の自分の姿を想像しにくいかもしれませんが、熱中できる何かを見つけ、行動に移すことも大事かと思います。ご家庭でも応援をお願いします。
- 家庭では、家庭の約束があり、家族の一員として子どもたちも生活しています。今の社会は、情報過多により、自分に必要な情報を見極めることが大変です。子どもたちも苦労していると思います。

子どもの命を守ることが一番であり、よさを伸ばしてほしいと誰もが望んでいます。花尾中の子どもたちは、人の話をよく聞きます。考えようとします。これからも聞き取る力・感じ取る力を育みながら、考え、調整する力につながる指導支援に努めます。

<体育大会 10月10日(金) 来週から学年練習も始まります。>